

梨とブドウの出来を競う品評会開催

8月24日、市果樹農業振興推進対策協議会の梨ブドウ品評会が行われました。生産者9人が出品し、栽培技術や品質を競いました。【結果（優等のみ、敬称略）】
■ニューピオーネ…永迫梨葡萄園 **■シャインマスカット**…(株)種子田フルーツ **■豊水**…永迫梨葡萄園



永久津中学校でキャリア教育を実施

9月7日、永久津中学校で宮崎大学附属病院フラインドクターの甲斐陽子さんと国連職員の島津志帆子さんを講師に招き、キャリア教育の授業が行われました。生徒らは、就職するまでの歩みや仕事内容についての講話を聞き、将来について考えを深めました。



夏の暑さを笑顔で吹き飛ばす 第5回シン・こばやし夏まつり

9月12日、第5回シン・こばやし夏まつりが昼と夜の2部制で開催されました。昼の部は、小林駅横ふれあい広場で子ども向けに水鉄砲大会や建設業協会による重機体験などを実施。夜の部は、駅南公園でお楽しみ抽選会やステージイベントのほか、地元の屋台やキッチンカーなどが並び、子どもから大人まで小林の夏を楽しみました。



同日はKITTO 小林の2階で昨年に続きお化け屋敷も開催。例年行列ができるほど人気のイベントで、会場には子どもたちの悲鳴が響き渡っていました。

第11回こばやしわのしずく Fes. 大萩康司さんの繊細な音色が響く

9月6日、文化会館で第11回こばやしわのしずく Fes. が開催されました。今回は、国内外で活躍する小林市ふるさと大使でクラシックギタリストの大萩康司さんによるソロコンサートとして開催され、約800人が来場。世界中の心を動かしてきた大萩さんの洗練された音色が会場を包み込み、来場者は心に響く演奏に聴き入りました。



大萩さんは小林高校卒業後、フランスとイタリアの音楽院へ留学。これまで20枚を超えるアルバムをリリースし、昨年デビュー25周年を迎えました。

秋の全国交通安全運動を前に 園児らが手作りお守りで啓発

9月9日、秋の全国交通安全運動が始まるのを前に市役所前で交通事故防止を呼びかけるキャンペーンが行われました（小林地区交通安全協会主催）。同協会職員や警察、小林中央保育所の園児など、約30人が参加。園児らは、市役所を訪れた来庁者に反射材のタスキや手作りのお守りを手渡ししながら、交通安全を呼びかけました。



同協会の内一幸会長は「人の命を守ることが目的。車を手放すことができない地域なので、今後も頑張っていきたい」と事故防止への思いを語りました。

国スポ・障スポ選手を花で歓迎 栗須小学校で花リレー開始式開催

9月3日、国スポ・障スポで来県する選手らを美しい花で歓迎する「花リレー」の開始式が栗須小学校で開かれました。苗の定植作業に汗を流したのは、5年生26人。児童代表の川田龍ノ進さんは「栗須小は宮崎市と小林市を結ぶ大事な道路に建っています。選手が花を見て楽しい気持ちで試合に向かってくれるとうれしい」と話しました。



植えられたのは大会推奨の色である、オレンジ色のマリーゴールド。今年度は市内小中学校19校で苗を育て、選手を温かく迎える準備を進めます。

西小林中卒業生が母校に還暦記念の寄付

8月21日、西小林中学校を昭和56年に卒業した西小林中学校還暦同窓会が同校に20万円を寄付しました。当日、谷口勇人校長に寄付金を手渡した同窓会代表の木村好孝さんは「寄付金は子どもたちの学校生活に役立つものに活用してほしい」と話しました。



市消防団が県操法大会で3位入賞

8月22日、宮崎県消防学校で開催された県消防操法大会に、小林市消防団第3分団第10部（西小林）が西諸支部代表として小型ポンプの部に出場しました。日々の厳しい訓練で培った技術と団員同士の連携による確かな操法を披露し、3位入賞を果たしました。



「子どもたちの熱中症対策に使う」 子供服企業がネッククーラー寄贈

8月26日、子ども服を中心とした企画・販売を行うアパレル企業の株式会社F・O・インターナショナル（秦英貴代表取締役社長）が、熱中症対策に活用できるネッククーラー「ICE RING」2,000個を市に寄贈しました。これは、近年深刻化する猛暑から子どもたちを守ることを目的に、同社が企業版ふるさと納税を活用し実現したものです。



寄贈されたネッククーラーは市内の全小中学生に配布し、児童の登下校時や屋外活動時における熱中症対策として有効に活用されています。

東京農業大学生と須木小児童が交流 児童が将来について考えを深める

9月3日、須木小学校に東京農業大学の学生4人が訪れ、児童たちと交流しました。これは、大学生との交流を通して、農業への理解と自分の将来について考えを深めてもらおうと行われたもの。児童は、大学生に教わりながら野菜の種まきに挑戦したほか、一緒に給食を囲むなど、会話を楽しみながら交流を深めていました。



ありきはるま 有木悠真さん（小学4年）は「大学生と初めて交流できて楽しかった。今日学んだことを自分の将来を考えると生かしていきたい」と話しました。